Ⅰ　学　校　の　環　境

１　湯之谷地区の実態

(1) 新潟県の南東、福島県・群馬県との県境にあり、北は旧広神村、旧入広瀬村と、西は旧小出町、南西は旧大和町・六日町と接し、北東は福島県、南東は群馬県に隣接している。

(2) 越後山脈の高峰が多く、地区内の標高差は約 2,000m、日本有数の豪雪地帯である。

(3) 地区の歴史は古く、縄文・弥生時代の遺物も出土し、湯之谷の名は奈良時代からあったようである。

(4) 江戸時代の明暦、元禄の頃は上田銀山の鉱山町として栄えた。

(5) 明治６年、新潟県に属し、同22年、岩鼻以東を湯之谷村、以西を八箇村とし、役場を設置。同34 年両村が合併して湯之谷村が誕生した。

(6) 昭和24年、只見川電源開発計画案が成立、昭和28 年着工、昭和36年390億円の資金と延べ約650万人の労働力、９年の歳月をかけて東洋一の地下発電所が完工した。

(7) 以来、奥只見人造湖は周辺の山々の偉容とともに観光のメッカとなり、ダム開発の際に建設された道路は村の動脈となり、村発展の一大転機を迎えた。

(8) 上越新幹線や関越自動車道の開通により、一層の発展が予想され、地区では昭和56年「湯之谷村総合計画」を策定し、「自然と健康とふれあいの村」づくりを計画的に進めてきた。そしてあらたに、平成３年度より「安らぎと活力に満ちた郷土の建設をめざして」のキャッチフレーズを定め、更に地区の発展を期している。

(9) 平成16年11月、小出町・堀之内町・広神村・守門村・入広瀬村・湯之谷村の六町村が合併し、今日の魚沼市が誕生した。

(10) 人口・世帯数の推移(令和５年３月 31 日現在)

	世帯数	人　　口		
		男	女	計
平成元年	１，７８３	３，２３５	３，３５８	６，５９３
26 年	２，１３５	２，９０９	３，１１４	６，０２３
27 年	２，１２９	２，８８６	３，０４９	５，９３５
28 年	２，１２５	２，８８４	３，０１２	５，８９６
29 年	２，１３７	２，８４６	３，００２	５，８４８
30 年	２，１５０	２，８２２	３，００１	５，８２３
31 年	２，１６４	２，７９２	２，９７２	５，７６４
令和２年	２，１５７	２，７２６	２，９１１	５，６３７
３年	２，１５３	２，６８５	２，８６２	５，５４７
４年	２，１６３	２，６６２	２，８２８	５，４９０
５年	２，１５６	２，６３７	２，７８８	５，４２５